

2010年(平成22年)5月21日 金曜日  
神奈川新聞 (地域)

三浦市社協

# 働く喜びを感じて

## 就労の基礎、障害者対象に

障害者が働くためのきつかけづくりを進めよう

三浦市社会福祉協議会は4月から、実践的な就労訓練をすることが困難な障害者を対象に、就労の基礎を学んでもらう取り組みを始めた。同様の事業は市内で初めてと、同協議会は「働く喜び、喜ばれる感動を体験できる事業展開をモットーに進めたい」と話している。

同協議会は昨年、葉山町社会福祉協議会と共同で新たに広域的な障害者就労支援のモデル事業を始めた。現在、横須賀市内の居酒屋

あり、人によっては数回の実習で身に付けるのは難しいことが分かった。今回、障害者に基礎的な調理技術を習得してもらおうと、障害者自立支援法に基づく「就労継続支援B型事業所」をオープンした。



障害者のトレーニングの場として新たに整備された調理設備 三浦市南浦町菊名

同協議会の事務局がある同市南浦町菊名の建物内に調理設備を整備、障害者が宅配弁当を作りながら調理や現場での動きなどをトレーニングする。作業でできるだけ簡略にしてマニュアル化し、最新式の特製なオープンを使うことで失敗なく一定の品質の料理を作ることができるといふ。

同協議会は「ここでじっくりトレーニングを積み、一人でも多くの人に働いてお金をもらえる喜びを知ってほしい」と話している。

(原 隆介)